

事前評価チェックシート

計画の名称： 八戸市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 ・雨水対策は、下水道事業計画による認可計画面積（雨水）1891haのうち、平成26年度末で約893haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり、上位計画との整合性はとれている。	
I. 目標の妥当性 ・地震・津波対策は、下水道事業計画に基づき整備された施設に対し、耐震化・耐津波化を図るものであり、上位計画との整合性はとれている。	
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
I. 目標の妥当性 ・大雨時における浸水防除および、地震時、津波浸水時における下水道施設の機能維持を目的とした整備計画の目標を立てている。	
I. 目標の妥当性 ・一級河川馬淵川の青森県側における国・県・沿江市町により構成される「馬淵川の総合的な治水対策協議会」における治水対策として尻内雨水ポンプ場が位置付けされており、地域の課題への対策として整備計画を立てている。	
I. 目標の妥当性 ・効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的として、ストックマネジメント計画により下水道施設全体の長寿命化の目標を立てている。	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、当市地域防災計画に基づき、地震・津波防災対策を的確に捉えており、地震・津波対策に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、当市における市街地整備（区画整理等）の状況を的確に捉えており、効率的な雨水対策に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、下水道ストックマネジメント計画による改築実施計画を捉えており、長寿命化対策に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、改築の実施に併せた耐震化対策を捉えており、地震対策に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は、浸水区域の防除、下水道施設の耐震化・耐津波化に係わる事業等としており、計画の目標と整合している。	
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性 ・基幹事業の雨水ポンプ場および幹線函渠と市単独事業による端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、より一層の浸水区域解消を図ることができる。	
II. 計画の効果・効率性 ・基幹事業の耐震、耐津波対策と効果促進事業による下水道BCP（詳細版）の策定を一体的に行うことにより、地震・津波発生時における施設の被害軽減及び地震・津波を含めた大規模災害時において、人員や資機材等が制限される中で速やかに下水道機能の維持や復旧が図れる。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ・雨水対策は地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
III. 計画の実現可能性 ・地震・津波対策においては、東日本大震災の被災状況及び八戸市地域防災計画の被害想定等を十分に把握し、効率的に事業を推進していくことから、事業効果は発揮できる。	
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ・過去10年以内に何度も大雨による浸水被害を受けている地区であり、早期の雨水対策に対する地区住民の機運は高い。	
III. 計画の実現可能性 ・東日本大震災以降、市民の防災に対する意識の向上が顕著で、地域自主防災組織の組織数の増加、主要場所への海拔標識の設置や防災行政無線の増設等、多くの要望がなされていることから、地震・津波対策の整備事業に対する機運は高い。	